

本業を通じて、持続可能な社会を創る

富士ソフトは、美しい自然に恵まれたこの地球環境と資源を次世代に引き継ぐため、環境保全への取り組みを経営課題の重要項目の一つとしてとらえ、持続可能な国際社会の創造に貢献していきます。「アマゾンの緑を守る」という当社環境方針の理念に基づき、本業を通じて、資源の保護を推進し、継続的な改善を図り、地球にやさしい企業を目指して努力していきます。

行動指針

- (1) ICTの発展により低炭素社会の創造に寄与する
- (2) 環境の法規制、及び周辺地域の環境条例、その他当社が同意する協定等の要求事項を遵守し、それらに沿った環境管理を行う
- (3) 国際社会との共生、地域社会との共生を図る
- (4) 社内外のステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを行う
- (5) 社員ひとりひとりは企業活動の内外にかかわらず、環境負荷軽減に向けて行動し、継続的改善に取り組み、地球環境保全に貢献する

1998年制定、2014年6月改定

1998年



Head Office

ISO14001認証

ISO14001「環境マネジメントシステム」

1998年8月21日、独立系ソフトウェアメーカーとしては日本で初めてISO14001の認証を取得しました（登録証番号：JQA-EM0205、登録事業所：本社）。

本業を通じた環境負荷軽減活動

当社は、地球温暖化を重要な問題ととらえ、「ICTの発展」という本業を通じて、省エネルギーを実現し、温室効果ガス（CO2）の排出量を必要最低限に抑えるべく、業務に取り組んでいます。例えば、自社開発製品であるタブレット向けサービス「moreNOTE（モアノート）」は、ペーパーレス会議・効率的なプレゼンテーションなど、ビジネスの分野で業務効率化を図ることができ、省エネルギーにつながります。

このように、自社開発製品及びソリューションを社会に提供することにより、社会全体の環境負荷軽減に努めています。

全社体制で温室効果ガス（CO2）削減を促進 ～無理のない省エネでCO2排出総量削減～

社内においては、全社横断的な体制として環境プロジェクトを立ち上げ、毎月1回の環境プロジェクトミーティングにより統一の環境活動を定めて、全事業所に展開し推進しています。また、環境プロジェクトでは節電・省エネを目的とした「FSI ecoガイドライン」を策定し、空調やブラインドの利用方法、照度や室温・湿度、PCの省エネ設定等多岐にわたり詳細な運用を決めています。その他カジュアルウェア基準を設け、年間を通じて空調に頼らない服装（eco Biz）を推奨しています。さらに社内イントラサイトに「eco オフィスサイト」を常設、全事業所の電気使用量や省エネ活動の紹介・省エネポスター等を掲載して見える化を図り、従業員の環境改善意識の啓発を行っています。これらの積極的な活動により、東京都環境確保条例では、『第一計画期間（2010年度～2014年度）におけるCO2排出総量8%削減義務』に対し、対象の全事業所合計で削減義務率を大幅に上回る20.7%の削減を達成しました。

今後も引き続き低炭素社会の実現に向けてICTの発展に努めるとともに、全社一丸となって省エネに取り組んでいきます。

CO2 排出量 (t-CO2)

	2013年度	2014年度	2015年度
全事業所	21,118	19,518	17,833
●秋葉原ビル	9,511	8,409	6,861
●本社ビル	4,558	4,432	4,192
●門前仲町ビル	2,208	2,207	2,419

※経済産業省「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づいて算出

環境省の気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。

当社は低炭素社会実現に向けて、積極的に活動しています。2016年のライトダウンキャンペーンにも参加し、6月21日と7月7日は全国のオフィスで20時に一斉消灯しました。

宣言文

ICTの発展による社会の質の向上で低炭素社会へ

CO2削減

20.7%

